

氏名	宮部 明美	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	成人看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	2013年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程 2023年横浜国立大学大学院医学研究科看護学専攻博士後期課程				
経歴	2013年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護学教育学学会、日本看護研究学会、日本手術看護学会、日本臨床栄養代謝学会（学術評議員、支部世話人）、日本ヒューマン・ケア心理学会（研修委員）、日本健康医学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	Development of the ward nurses' discharge-oriented dietary support scale for older adult patients in Japan	共著	あり	○	Japan Journal of Nursing Science 20(4), e12541	Akemi Miyabe, Mana Doi, Yuka Kanoya
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	病棟看護師の口腔ケアに関する実態調査	共同	第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会、横浜	○宮部明美, 和田里美, 谷岡恵, 山本麻千子, 山田哲也, 伊勢文香	2024.2	
2	退院後の見通しをもった高齢者の食支援に関する病棟看護師の自己評価に影響する要因	単独	第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会、横浜	○宮部明美	2024.2	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢者の生活の見通しをもった食支援向上のためのNSTリンクナース育成モデルの開発	研究代表者	2023.4～2027.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	看護師による退院後の見通しをもった高齢者の栄養アセスメント自己評価尺度の開発	研究代表者	2020.4～2024.3		
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	中堅看護師の教育力深化を目指したアクティブラーニング型研修の開発と評価	研究分担者	2018.4～2024.3		
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究分担者	2019.4～2024.3		
5	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	ポジティブ・ヘルスに資する若年者向けヘルスリテラシー育成プログラムの開発	研究分担者	2021.4～2026.3		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学Ⅲ	○	15	教育計画を立案し、講義担当の調整、授業評価などを担当した。講義は周術期看護概論を担当した。
2	IPW論		15	リフレクションに関してチームワークの体験を自分の力にする方法について講義を担当した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学Ⅲ	○	15	胃切除手術を受けた患者の看護過程はグループワークを取り入れて、学生同士で共有しながら検討できるように進化した。周術期の技術演習では術後の身体観察についてシミュレータを用いた観察を取り入れた。
2	成人看護学Ⅱ		6	ヘルスアセスメント演習では脳神経系の診察方法の実践として口腔・嚥下機能の診察を行った。
3	成人看護学Ⅴ		6	慢性病をもちながら生活している患者事例において、学生が主体的に看護過程を展開できるようにグループワークを進行した。
4	臨床実践看護		6	輸液管理、陰部洗浄、おむつ交換の実践、突発事象への対応シミュレーションにおいて学生が主体的に実践できるように支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅰ		2023.5～2023.6	臨地実習において、手術室・ICUの見学を引率し、カンファレンスにて学生同士が学びを共有できるように指導した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2023.5～2023.6	臨地実習において、学生の受け持ち患者の看護過程の展開および看護技術の提供において個別性を考慮し、実習指導者と連携しながら指導を行った。
3	IPW実習		2023.10.	障害児施設へ出向き、学生が主体的に参加できるよう、施設FTと協力しながら進めた。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2023.12	主指導 2名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	研修会講師	埼玉県看護協会	「看護の進め方」	2023.5～2023.6
2	研修会講師	埼玉県看護協会	看護研究を実践してみよう」	2023.6～2024.3
3	看護研究発表会	埼玉県看護協会 東部支部	看護研究発表会講評者	2023.11
4	オープンカレッジ専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	看護師の教育力を高めるためのセミナー	2023.10～2024.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本臨床栄養代謝学会	学術評議員、支部世話人		2022.2～2024.3
2	埼玉県看護協会東部支部	教育委員		2022.4～2024.3

3	日本ヒューマン・ケア心理学会	研修委員	2023.4～2025.3
4	日本看護研究学会第49回学術集会	実行委員	2023.8
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	広報こしがや8月号健康情報コラム執筆	熱中症予防対策をして元気に夏を乗り切ろう！	2023.8
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	大学広報活動	高校出張講座	2023.12
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会、保健センター員	2023.4～2024.3
3	助教・助手会	リーダーとして、スタッフルームの環境調査・分析、各室内のレイアウト変更の調整および備品の調整に協力した。	2024.1～2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		